

令和元年度第2回
浦安市総合教育会議
議事録

令和元年11月21日（木）午後4時30分～
於：市役所4階S2・S3・S4会議室

浦安市 企画部 企画政策課

令和元年第2回浦安市総合教育会議

概要

1. 開催日時 令和元年11月21日（木）午後4時30分～午後5時30分
2. 開催場所 市役所4階S2・S3・S4会議室
3. 出席者

（委員）

内田市長、鈴木教育長、宮道教育委員、宮澤教育委員、館教育委員

欠席：吉野教育委員

（事務局）

企画部長、企画部次長、秘書課長、企画政策課主幹、企画政策課課長補佐（司会）、
企画政策課主任主事（2名）

教育総務部長、教育総務部参事、教育総務部次長、教育総務課長、教育政策課長、教育施設課長、学務課長、学務課主幹、指導課長、教育研究センター所長、保健体育安全課長、千鳥学校給食センター第一調理場・第二調理場所長、教育総務課課長補佐
生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、生涯学習課主幹、青少年センター所長、市民スポーツ課長、郷土博物館長、高洲公民館長、中央図書館長、生涯学習課課長補佐

4. 議題 浦安市教育大綱素案について

5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 浦安市教育大綱素案について

浦安市教育大綱素案について、各委員が意見を述べた後、意見交換を行った。

- (4) 閉会

5. 会議経過

司 会： ただいまより令和元年度第2回浦安市総合教育会議を開催いたします。

ここで、傍聴の皆様にご案内いたします。会議の傍聴に当たりましては、傍聴券の裏面に記載してございます遵守事項を守っていただきますようお願いいたします。

それでは、第2回浦安市総合教育会議の開催に当たり、内田市長よりご挨拶がございませう。よろしくお願ひいたします。

市長： 教育委員の皆様におかれましては、日ごろより本市の教育行政、子どもたちのためにご尽力いただきまして、まことにありがとうございます。

会議の開催に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

本市のさらなる飛躍に向けて、今度の12月定例会に総合計画を提出させていただきます。これまで総合計画審議会等々でご議論をいただき、基本構想、基本計画を答申いただきました。教育大綱については、この総合計画のうち「人が輝き躍動するまち・浦安」という将来都市像や基本目標等を踏まえて本市の教育理念を示す大切な大綱となります。新たな総合計画のもと、教育施策を一体的に推進するため、市長部局と教育委員会が方向性を共有し、連携を図りながら、全ての教育の総合的な指針として、教育大綱を策定しますので、委員の皆様から素案に対して、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしくお願ひします。

司会： それでは、本日の議事に入ります。ここからの議事進行は、内田市長にお願いします。

市長： それでは、議事に入ります。

本日の議題は、お手元の資料のとおり教育大綱素案についてです。

企画政策課より説明させていただいた後、まず、皆様から一通りご意見をいただき、その後は、自由に意見交換をしたいと思ひます。

それでは、企画政策課より説明をお願いします。

企画部次長： 浦安市教育大綱の素案について説明させていただきます。

素案の1ページをご覧ください。こちらについては、教育大綱の趣旨、大綱の位置づけ、大綱の期間を記載しています。「1. 策定の趣旨」についてですが、教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定により、教育振興基本計画を参酌しつつ、本市の実情を踏まえ、市長がこの教育総合会議の中で、教育委員の皆様からご意見を伺いながら定めるものとなっています。

それに基づいて、「2. 大綱の位置づけ」については、総合計画のもと、関連する各種の分野計画と整合を図りながら、教育、学術及び文化の振興に関する総合

的な施策などについて基本理念を示すものであり、体系図を掲載しています。

続きまして、「3. 大綱の期間」については、本市の教育理念を示すものであることから、対象期間を設けないこととし、教育環境や社会情勢の変化などに対応しながら、浦安市学校教育推進計画等の関連計画の実効性を考慮しながら、必要な見直しを図っていくこととしています。

続きまして、2ページ「4. 基本理念」についてです。先ほど市長からご説明がありましたとおり、教育大綱の上位計画である総合計画を令和元年の第4回の定例会に上程させていただきます。総合計画において、将来都市像を「人が輝き躍動するまち・浦安～すべての市民の幸せのために～」と設定しています。

まちづくりの主体として「人」に焦点をあてている総合計画の主旨を踏まえ、大綱では、「人づくりからはじまるまちづくり」を目指し、市民一人ひとりが生涯を通じて主体的に学び、地域の中で育み、互いに認め合い、将来にわたって活動できるよう、本市の教育における基本理念を「学び 育み 認め合い 『未来を想像する』人づくり」といたしました。

続きまして、3ページについては、大綱に基づく個別計画の取り組みを記載しています。教育振興基本計画の中で基本目標を定めており、基本目標1で学校教育分野として「自ら学び 自他を尊重する心と 新しい時代を切り拓き しなやかに生きる力を育みます」と、基本目標2で生涯学習分野として「自ら学び ともに高めあい 地域に生きる 生涯学習の実現の推進」と、また基本目標3で生涯スポーツ分野として「心も 身体も元気で生涯スポーツ健康都市の実現を目指します」と設定しています。

また、「6. 大綱実現のために」では、大綱における基本理念を実現していくために、市長部局と教育委員会がそれぞれ役割を果たし、取り組みを進めていくこととしています。

まず、1点目として、全ての市民が大綱の基本理念を共有できるよう取り組んでまいります。また、2点目として、それぞれの施策間の連携を図りながら、より高い効果が得られるよう適切な進行管理を行っていくこととしています。

また、資料編として、浦安市総合教育会議設置要綱と浦安市総合教育会議委員名簿、総合教育会議開催記録を掲載していきたいと考えています。

次に、参考資料2—1をご覧ください。

ただいま説明させていただきました教育大綱素案の策定に当たり、7月25日に開催いたしました第1回総合教育会議において、委員の皆様からいただいたご意見をまとめています。浦安市教育大綱素案では、教育委員の皆様からいただいたご意見を反映していますので、本日新たなご意見をいただきたいと思っております。

説明は、以上です。

市長： 今、企画政策課から説明させていただきましたが、教育大綱は、総合計画における将来都市像に基づいて、浦安市の教育の基本的な考え方である「学び 育み 認め合い 『未来を想像する』人づくり」と人に焦点を当てて、市長部局だけではなく、教育委員会と協力しながら策定したいと考えています。

分野としては、学校の分野と社会教育分野、スポーツ分野の3本立てで教育振興基本計画を策定し、その上に大綱が位置づけられるといたしますか、大綱を基にこの3つ分野の目標が位置づけられることとなります。

教育の仕組みや学校の施設など色々な部分を含めて、何が大切かということやはり一番大切なのは人であろうということで教育大綱の素案を策定していますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

まずは、補足説明も含めて教育長からご意見をお願いします。

教育長： まず、この基本理念の最初の説明文にある「まちは人の意思によって創られます。そして、教育はまちを創る人づくりを担います。」というフレーズはとても良いと思います。

「学び 育み 認め合い 『未来を想像する』人づくり」という基本理念は、これから令和の時代が続いていっても、ずっと通用する理念だと思っています。

この基本理念を実現するため、教育振興基本計画において基本目標を定め、各分野の推進計画において具体的な施策に取り組むことが大事なことだと思っています。

また、質問になりますが、総合計画は20年、教育振興基本計画は10年と期間を決めていますが、教育大綱の期間を設定しないとご説明がありました。たとえば、他の市町村でもこのような傾向にあるなど、大綱の期間を定めないものなのでしょうか。

市長： この大綱は、理念的なものです。目標年度を定めて、そこに向かって達成率を設定していくようなものではありません。大綱は、あくまでもフラッグとして掲げ

るようなものであり、たとえば、高齢化が進展しようと、もっとICTが進展しようと、普遍的なものとして、あえて期間を設定していません。

ただし、総合計画における基本構想を受けた大綱になっていますので、基本構想の目標年次を超えることはないと思います。

教 育 長： 大綱の基本理念については、いつの時代になっても通用するものだと思っていますので、市長のお考えはよく理解できました。

市 長： それでは、続きまして、宮道委員、お願いします。

宮道委員： まず、この基本理念については、永遠のテーマではないですけども、ずっと通用するものだと思います。また、基本理念のご説明の中で、すべての市民の幸せであるとか、人が輝くであるとか、人に焦点を当てていることがメッセージとしてよく伝わるので非常にいいなと思っています。

市 長： それでは、宮澤委員、お願いします。

宮澤委員： この大綱は素晴らしいと思いますが、もっと浦安スタイルを出していいかなと感じます。前任の川端委員がおっしゃっていた「できない子を増やさない」という落ちこぼれる子を出さないという教育の仕方も浦安らしさであって、もっと助ける教育があってもいいのではないかと考えていたりもします。前回の会議で話題に出た不登校や虐待、いじめなどについて、浦安らしさで何とかフォローしようというところが出てきていいのかなと思います。人づくりの中で、学び、育み、認め合いということは素晴らしいことなのですが、より具体的に「らしさ」を出せたらよいと感じます。

また、個人の可能性を広げていくに当たって、本当にこの詰め込みのやり方でいいのか考えさせられることが多いと感じています。これからは自分の中でアイデアを持っているということが非常に大切になると考えています。

市 長： 宮澤委員のご意見はごもっともだと思っています。

教育大綱を受けて策定する教育振興基本計画や個々の学校教育、生涯学習、生涯スポーツ、この3本柱において、宮澤委員が言われているような、もっとエッジをきかせたことを書いてほしいと私も思っていますし、そのようにしていきたいと思っています。

そのような中で、大綱の基本理念は、総花といいますか、漠としたもので、「青い空に白い雲が飛んでいていいね」というようなもので、気温が何度で、風がど

のように吹いて、これが最高の気候だというものではないことをご了承いただければと思います。

館委員、お願いします。

館委員： 先ほど、教育長がおっしゃったように、最初の「まちは人の意思によって創られます。そして、教育はまちを創る人づくりを担います。」という表現は、国家100年の計は教育にありという言葉が現代風に言い換えているように感じられ、とても良いと思います。

「すべての市民の幸せのために」という表現は、ちょっと行政的な感じがして、この輝く人たちが、それぞれ主人公であることが一番大切なのではないかと思えます。この「学び 育み 認め合い 『未来を想像する』人づくり」をした後、人それぞれが主人公で輝いているということが自覚でき、まちも一層輝くことがいいなと思うので、市民一人ひとりが主人公だということがどこかで表現できていると嬉しいなと思えます。

市長： これは市民の皆さんの目標であり、また、我々行政に携わるものの指針でもあると2つの面を持っていますので、どうしても行政的に感じられる部分が出てしまいます。

ちなみに、「まちは人の意思によって創られます」という表現は、私が書きました。

館委員： すごい良いフレーズです。

市長： 実は、「人が輝き躍動するまち・浦安」という表現は、ダブルミーニングになっていまして、人が輝くことによってまちが躍動する、まちの躍動という意味と、人が輝きながら自分たちで跳ね回れるようなまちをつくりましょうという意味で、基本的にはすべて人です。「すべての市民の幸せのために」ということは、どんな弱者も取りこぼしはしない、伸びる子はもっと伸ばす、年をとっても学びたい人は学べるというようなことだと思っています。「まちは人に意思によって創られます」というフレーズは、基本構想の将来都市像の表現と合わせてあります。このまちは、先人たちの確固たる意思のあらわれとして、まちづくりが進められました。ディズニーランドを誘致する、埋立をする、また電車を通すなど様々な部分で、時代潮流だけではなく、先人たちも含めた人の意思によって、この浦安というまちはつくられてきました。今後も教育をなぜするかというと、このまち

を、意思を持ってつくるための人づくりを行っていくために大切なことではないのかという考えがあり、今回の基本理念につながっています。

基本構想の2ページを見ていただくと、まちづくりをする上での基本姿勢を安全・安心、共生・尊重、自主・連携としています。学び、育み、認め合いというフレーズは、どちらかというところ、これらを受け取る形になっています。たとえば、認め合いというところ、今日的な問題としてはLGBTや、お年寄りと子どもとの世代間ギャップ、外国人の話もあり、色々な部分でお互いが共生して尊重し、連携していくことが未来を創造すると思っています。

色々申し上げましたけれども、宮澤委員がおっしゃるようなエッジのきいたもの、あるいは館委員がおっしゃるようなそれぞれの人が主人公であるということは、大綱に基づく教育振興基本計画などで対応させていただければと思っています。

ここで、皆さんに今後のことも含めてお聞きしたいのですが、学校教育と生涯学習と生涯スポーツ、この3本柱の連携について、どのようにしていくべきでしょうか。教育振興基本計画で取りまとめていくのですが、それぞれの分野の連携をどのように考えていくのかということが、分からないところです。生涯学習と生涯スポーツは、重なります。学校教育と生涯学習だって重なりますし、学校教育と生涯スポーツも体育とスポーツで重なるわけで、その後の推進体制の部分も含めて、どのように連携していくか迷っているところです。

宮道委員、ご意見はありますか。

宮道委員： 私見ではありますが、生涯学習というのは、社会に生きていく上でずっと続いていくと思っています。浦安の場合、良い病院があることからヘルスプロモーションではないのですが健康を切り口として、学校教育などで安心・安全教育、健康教育などを一貫してできると良いと思います。

全国的なことだと思いますが、この前学校の資料を見たところ、視力がこの10年で落ちてきています。浦安市はきちんと意識づけをして、10年後、他の市より改善が見られるように取り組むことなども考えられます。生き生きとスポーツをしていただいて、かかる医療費も減らせるといいですか、予防的な意味合いも含めて、健康を切り口にして一貫することを1つ柱に置いてもいいのかなと思います。

市長： 宮道委員が健康を切り口にするとお話をされましたが、学校教育、生涯学習、生涯スポーツの各分野をどのようなキーワードで横串を刺していくとよいのでしょ

うか。たとえば、ICTなのか、健康なのか、それとも、浦安は災害に強く、安全・安心だから防災で串刺しにしていくのでしょうか。教育大綱を皆さんに協議していただく中で、この次の展開まで、お話しをお聞きしたいと思います。

館委員、何かありますか。

館委員： 横串ではありませんが、一人の人間の時間軸とその人の生きていく長い人生の中での行動半径というか行動エリアみたいなものをX軸、Y軸と考えることができるかなと思います。はじめは家庭にいて、本当に点ですが、幼児教育、学校教育と少しエリアが広がって、また育つと広いエリアになっていきますよね。時間と自分の行動半径みたいなものがちょうどリンクしていき、円錐形を逆にしたように、最初は小さいけれど、だんだん大きくなっていく。結果的にはこの全部を生涯学習と言ってもいいのかもしれないと思ったりもします。

市長： そのような考え方もあるかもしれないですね。

行政は、どうしても縦割り、縦割りと言われますが、縦割りにしないとこんがらがっちゃいます。今回についても教育振興基本計画だけで色々なことを書こうとするとあっちへ行ったり、こっちへ行ったりばらばらになるので、きちんと分野ごとに分けます。そこにもう1本、串を入れることによって井桁に組まれてばちっとなるというようなイメージですが、何が必要なのかが分かりません。

また、健康という言葉によってタブーの境界が分かりづらくなっているように感じます。生涯学習が色々な面で広がり過ぎているところを、教育の中でどのように整理すればよいのでしょうか。

教育長、いかがでしょうか。

教育長： 市長がおっしゃるように、視点を変えて、目的を明確にすれば、様々なものが生涯学習になってしまう気がします。

市長： 競馬の予想をみんなですて、それも生涯学習だとする生涯競馬とか出てくような気がします。

館委員： 脳の活性化につながるのでしょうか。

市長： 競馬のデータ分析は、すごいものがあります。

館委員： ニュージーランドではマージャンは、生涯学習のクラスの中に入っていた気がします。

市長： 脳の活性化のために子どものころからマージャンを学校に教えにいくとか、そう

いう話になるのかなと思ってしまいます。子どもたち与える影響があるのか分からない中で、安易に健康として認めるのはどうかと最近思っています。

教 育 長： たとえば、eスポーツもそうかもしれません。健康面で良くないとされる一方で、基になる部分は算数、数学の分野で統計の学習になると言われます。

また、各分野をつなぐ横串については、先ほど宮澤委員が話された、浦安らしさを教育の分野で出したいというところにも実はつながり、その横串を何とするかによって浦安らしさをもしかしたら出せるのかなと思います。

市 長： 浦安らしさといったときに、スポーツとするのか、それとも防災に関してみんな詳しいとか、自分の命を自分で守れるとか、火を起こせるとか、何をするのがよいのでしょうか。

宮澤委員： うちの子どもがよく行った海苔づくりも1つかもしれません。そのようなことをもっとすれば、落ちこぼれをつくらないためにどうしていくのかなどどんどん進んでいくでしょう。

教 育 長： 浦安は教育の分野では、すでに幅広くやっていますよね。

宮澤委員： そのため、助け合いや助ける教育などこれまでと違う方向を探ることが考えられます。

市 長： 自分のことはできるから、人を助けるということは考えられるかもしれません。

また、頑張っている人がもう少し報われるようにならないかと思っています。良いことをした子は、もっとみんな褒めてもらいたいだろうと思っています。

プログラミング教育でアルゴリズムをきちんと学ぼうという話などが出てくる中で、教育の質も少し変わってきている気もします。浦安の子の特徴として、極端な話、誰でもパソコンのブラインドタッチができるとか、そのようなものでもいいかもしれません。

宮道委員： 英語だけでなく、中国語もできるとかも考えられるかもしれません。

市 長： この件について、様々なご意見をいただきましたが、引き続き総合教育会議に出席している我々の宿題とさせていただいてよろしいでしょうか。

また、教育大綱の素案については、これで承認をさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

市 長： もう1つ、皆さんにお聞きたいことは、オリンピック・パラリンピック後の体育スポーツ施策は、どちらに向けばよいのかということです。今は、オリンピッ

ク・パラリンピックを契機にと言って様々な取り組みを進めていますが、大会後にレガシーが残らず一過性で終わることも考えられます。そのような場合、行政として、スポーツや体育、運動、健康などに対して、どのようなことをやっていけばいいのでしょうか。

館委員、いかがでしょうか。

館委員： ボッチャを支援していると思うのですが、自分自身はスポーツにあまり触れていなくても、障がい者スポーツに触れることで、色々な学びがあると思います。

やはり宮道委員がおっしゃるように、健康という切り口でいうと、全員がスポーツをした方が血のめぐりもよくなるし、体力もつくし、筋力もつくし、おすすめだと思いますが、オリンピック・パラリンピックを見て、どうやって自分事に行うことができるかと考えてしまいます。たとえば、今回ラグビーをずっと観戦しましたけれども、私自身がラグビーをやるかという絶対にはやらないです。

そこで自分事にしていける部分がそれぞれ見つければ、オリンピック・パラリンピックの後に残るものがあると思います。ただし、今の時点では、1つ、2つ仕掛けをしていかないと自分事に落ちてこないのかなという気がします。

宮道委員： みんなが競技をやるということも一部だと思いますが、得意の人もいればそうじゃない人もいます。健康という切り口であれば、どんな人も関わることができるのではないかと考えています。

市長： オリンピック・パラリンピックをやるからには、大会後にも何か残したいと思っていますが、仕掛けの仕方が難しいと感じます。

教育長、ご意見があればお願いします。

教育長： スポーツについては、生涯スポーツ健康都市宣言を打ち出していますけれども、今回のラグビーワールドカップのようにやることも楽しく、見ることも楽しく、またそれを支えるのも楽しいという形でいいと思います。

市長： 宮澤委員、いかがでしょうか。

宮澤委員： 大会が与える影響力は大きく、特に何かに関わったり、見に行ったり、感動した体験が心の中で残り続けて、将来、自分自身に活かされていくことが理想だと思います。特に、キャンプ地に行って見てきたとか、ごみ拾いやボランティアをするなど大会に関わることは非常に大事なことだと思います。

一方、大会後、競技場など施設の維持は課題です。

市長： 今回のラグビーワールドカップでは、浦安にはほとんどレガシーが残っていません。ワールドカップをきっかけに社会人チームや地元のチームの人がもっと盛り上がるだろうと思っていました。

宮澤委員： 浦安市をキャンプ地としたチームとの触れ合いはなかったのですか。

市長： 南アフリカ代表チームが小学校1校で地域交流イベントを開催しただけです。

館委員： 決勝戦を見ましたが、南アフリカから応援しに来ている方が少ないと感じました。また、せっかく浦安をキャンプ地としているのだから、もっと南アフリカを応援すればよかったと思いました。

市長： オーストラリアからは手紙が来ましたが、大会後に南アフリカ代表チームとの交流はありませんでした。

宮澤委員： サッカーでは、カメルーンなどワールドカップの際にキャンプを行ったチームとの交流がいまだに続いています。

市長： その点も含めて、あり方を考えていきたいと思いますので、ご教示をまたよろしくをお願いします。

今日は長時間にわたり、ありがとうございました。

司会： 最後に、今後のスケジュールとして、本日、承認いただきました素案について、12月1日から翌年1月6日にかけて、パブリックコメントを実施します。その後、パブリックコメントでいただいた意見等を反映して、報告させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

本日はありがとうございました。

午後5時30分 閉会